

牧之原市立榛原中学校における  
新型コロナウイルス感染症対策の概要  
Ver.2(レベル別対応を追加)



**【生徒・保護者版】**

2020.5.20

2020.6.8改訂

## 1 はじめに

5月18日から段階的な学校再開が始まり、6月1日からは通常とおりの学校生活となりました。子供たちは爽やかな笑顔とあいさつで元気に登校してきています。今までの学習の遅れを取り戻そうと、集中して授業に取り組んでいますし、部活動も活気のある活動でブランクを感じさせない頑張りが見られます。体調不良のお子さんもありますが、徐々に学校生活を過ごせるだけの十分な体力・気力を育てていけるようにしていきます。

学校では感染対策に十分気をつけるための、榛原中学校における新しい生活様式がある程度定着してきました。このような中、文部科学省から「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ～学校の新しい生活様式～」が示されました。

このマニュアルでは、各地域の感染状況に応じてレベル1～3に分類して、そのレベルごとに学校で指導できる内容が示されました。榛原中学校は現在レベル1で感染拡大注意都道府県の基準に達していない地域と判断されます。

この資料は、前回作成した榛原中学校における新しい生活様式をベースにし、感染対策を行った上で、できる限り通常の教育活動を実施するように策定し直したものとなっています。今現在学校で行われていることを明確して、私たち教職員の指導バイブルにすることと共に保護者・地域の皆様に内容を十分御理解いただくために作成しました。

今後お子さん達の学びの保障を最優先にしながらも、学校でしか味わえない様々な経験・体験・感動もできる限り、実施できるように努力していきますので、御家庭におかれましても引き続き感染対策への御理解・御協力をいただきますようお願いいたします。

榛原中学校長 大石友巳



# 新型コロナウイルス感染症対策

## 榛中での生活について

保健室より

### 家庭では

- 体温を測定し、榛中ノートに記入します。
- 発熱、咳、だるさ等体調が悪い時は登校しません。
- 自分や家族がPCR検査を受けた時は、家の人から学校に連絡してもらいます。

### 【健康管理】 について



### 学校では

- 家庭での体温測定を忘れた場合は登校後すぐに測定します。
- 体調が悪くなった場合は、すぐに先生に言い、早退します。



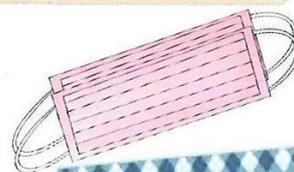
### 【感染予防】について

#### 手洗いの徹底

石けんを使い、ていねいに手を洗うことで、十分にウイルスを除去できます。手洗いが習慣になることでウイルスの侵入を防ぐ確率が上がります。

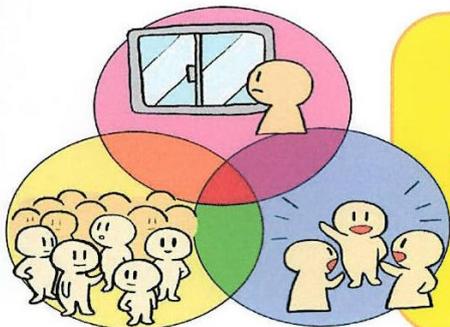
#### アルコール消毒

登校後、移動教室後、給食前にはていねいな手洗いの後にアルコールによる消毒をします。給食前については、絶対に忘れないようにしましょう。



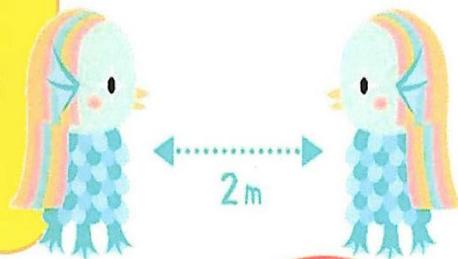
#### マスクの着用

校内では必ずマスクを着けて生活します。ただし、慣れないマスクの着用で熱中症の心配があるため、水分を多めに取るように準備しましょう。



### 【3密（密閉・密集・密接） を避けて 【ソーシャルディスタンス】 を意識した生活 について

social distance



- 対面での会話はできるだけ控えます。
- 昇降口、廊下、トイレ、水道等で**密集・密接にならないよう工夫しながら**生活します。
- 体育や部活動などで、先生からマスクを外した活動の指示があった場合は、**ソーシャルディスタンスを意識した行動**をします。

榛中での生活が、しばらくの間大きく変わります。イライラしたり、不安になったりいろいろなことがあると思います。榛中生一人一人が「他を思いやる」気持ちで生活することで困難を乗り越えていきましょう。

### 3 作成にあたってよりどころとしたもの

- 文部科学省事務連絡『新型コロナウイルス感染症に対応した小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校等における教育活動の再開等に関するQ & Aの送付について(5月13日時点)』(以下『教育活動の再開等に関するQ & A』)
- 文部科学省初第265号『新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」の方向性等について(通知)』(以下『「学びの保障」の方向性』)
- 文部科学省『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22 Ver.1)』(以下『学校の新しい生活様式』)

### 4 「新しい生活様式」を踏まえた榛原中学校の行動基準

【レベル3】生活圏内の状況が、「特定(警戒)都道府県」に相当する感染状況である地域

学校教育活動	長期間にわたることが予想されるため、3年生については、1学級当たり2教室を使用して、教育活動を行い、未履修のないように授業を進める。1・2年生については週2回程度の分散登校を行う。
感染リスクの高い教科活動	行わない
学校給食	なし(弁当持参)
朝の会・帰りの会内の合唱練習	実施しない
部活動(自由意志の活動)	原則、実施しない。活動する場合は、個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間に限定して行う。

【レベル2】生活圏内の状況が、

- ① 「感染拡大注意都道府県」に相当する感染状況である地域
- ② 「感染観察都道府県」に相当する感染状況である地域のうち、感染経路が不明な感染者が過去に一定程度存在していたことなどにより当面の間注意を要する地域

学校教育活動	全学年分散登校
感染リスクの高い教科活動	当面は行わない
学校給食	なし(弁当持参) ただし、レベル1への移行期間で学校給食が再開されることも考えられる。
朝の会・帰りの会内の合唱練習	実施しない
部活動(自由意志の活動)	リスクの低い活動から徐々に実施し、教職員が活動状況の確認を徹底すれば可能とする。

【レベル1】生活圏内の状況が、感染観察都道府県に相当する感染状況である地域のうち、レベル2にあたらないもの ※感染拡大防止に配慮しつつも日常生活に戻していく

学校教育活動	通常登校
感染リスクの高い教科活動	十分な感染症対策を行った上で実施
学校給食	十分な感染症対策を行った上で実施
朝の会・帰りの会内の合唱練習	十分な感染症対策を行った上で実施
部活動(自由意志の活動)	十分な感染症対策を行った上で実施

- レベル設定や臨時休業、分散登校などについては、市教育委員会が判断をします。
- 榛原中学校では、6月8日よりレベル1で教育活動を行うことを確認・了承を得ました。

## 5 学校生活における感染拡大防止のための取組

### 【レベル3・2】

- 手洗いを徹底する。
- 必ずマスクを着用する。
- 3密(密閉・密集・密接)を避ける。



### 【レベル1】

- 手洗い6つのタイミング※で手洗いを徹底する。
- 可能な限りマスクを着用し、咳エチケットを励行する。
- 3密(密閉・密集・密接)を避ける工夫をし、教育活動を行う。

※ ①外から教室に入るとき ②咳やくしゃみ、鼻をかんだとき ③給食の前後 ④掃除の後 ⑤トイレの後 ⑥共有のものを触ったとき

### (1) 生徒の健康管理について

- ① 普段より体温が高かったり、体調がすぐれなかったりする場合は、自宅で休養します。
- ② 学校では、登校したら、榛中ノートで検温確認をします。家庭での検温を忘れた生徒については、すぐに検温させます。



- ➔ 体温が高い、体調がすぐれない生徒については、いったん会議室にて待機させます。
- ➔ 登校によって、体温が高くなっていることも考えられるため、再度、検温をして、それでも体温が高かったり、体調がすぐれなかったりした場合、保護者に連絡のうえ、早退させます。
- ➔ 早退する場合は、学校より連絡をします。下校時の安全を考え、保護者の迎えを基本とします。生徒はその間、会議室で待機をします。学校に來られましたら、事務室に声をかけください。

### 【レベル3・2】

- ➔ 当面は、感染リスクを抑えるために「保健室で1時間ようすをみて、がんばれそうなら教室へ」という措置は取りませんので、御了承ください。

### 【レベル1】

- ➔ 本人が望めば、保健室で1時間、健康状態を観察します。健康上に問題がなさそうであれば、教室に戻します。

### 【レベル3・2】

- ③ 登下校も含め、学校生活ではマスクを着用します。また、教職員は積極的に呼びかけをします。

### 【レベル1】

- ③ 学校生活ではマスクを着用します。また、教職員は、校舎内では着用するよう呼びかけをします。
  - ➔ マスクを忘れた生徒には、マスクを渡します。本校同窓会長様、JACK OCEAN SPORTS様よりマスクの寄付をいただきました。また、一時期ほど、マスクが手に入らないわけではありませんが、学校にあるマスクには限りがあります。予備を含めてカバンに入れておくなど、御家庭でできる準備をお願いします。
  - ➔ 感染リスクを抑えるために、使用したマスク、使えなくなったマスクについては、各自持ち帰りをし、自宅で処分します。使用済みマスク用のビニール袋を用意するなどの御協力をお願いします。

### 【レベル3・2】

- ➔ 保健体育の授業や部活動では、熱中症リスクを軽減することの方を優先し、マスクをはずすこともあります。そのようなときは、三密状態にならないように、一定の距離を保つ、換気をするなどの対策を施します。

### 【レベル1】

- ➔ 保健体育の授業や部活動では、熱中症リスクを軽減することの方を優先し、マスクをはずさせます。また、長時間の3密状態にならないよう配慮した上で、履修すべき内容を行います。

- ④ 登校後の健康観察を丁寧に実施して、体調不良だけでなく、こころの面についてもサポートします。
  - ➔ コロナ禍によって、普段以上に不安やストレスを感じていることも考えられます。御家庭では、検温をとおして、お子さまとコミュニケーションをとり、様子をみてください。何か気づいたことがあれば、学校にお知らせください。
  - ➔ 学校でも気になる様子が見られた場合は、御家庭に連絡をさせていただきます。
  - ➔ おもに火曜日がスクールカウンセラーの勤務日となっております。カウンセリングを希望される方は、担当(生徒指導主事)まで御連絡ください。
- ⑤ 手洗いをこまめにさせます。
  - ➔ 特に、清掃後、移動教室後、トイレ後、給食配膳前など、手洗いを積極的に呼びかけます。
  - ➔ 手を拭くタオルやハンカチ、ティッシュ等は共有しないよう指導しますので、清潔なものを毎日、持参させてください。
  - ➔ 教室入り口付近には、消毒液が常時、設置してあります。

## (2) 消毒について

- ① 特に多くの生徒が手を触れる箇所については、毎日の放課後、教職員が消毒します。(各教室の机、いすの背もたれ、出入り口のドアノブ、掃除用具入れのドアノブ、電灯のスイッチ、ロッカーのエッジ、窓のクレセント及び手すり、消毒液の手で押す部分、水道のひねる部分、階段の手すり、トイレのドアノブ、レバーハンドル等)
- ② 部活動で道具を使用する場合は、部活動が始まる前に消毒をする時間を設けたり、部活動終了時刻を前倒ししたりします。「消毒も含めて準備・片付け」といった新しい生活様式に合わせた準備・片づけをします。
- ③ 部活動のない日については、全職員で消毒活動を行います。部活動のある日については、帰りの会15分後に教室等に生徒が出入りできないようシャッターを下ろした上で、部活動副顧問を中心に消毒活動を直ちに行います。この消毒活動については、友仁会の皆様をはじめとする地域の方の協力を得て、実施していきます。
- ④ 消毒液については、榛原地区学生協及び教職員組合様、三和東海株式会社、焼津冷蔵株式会社様より寄付をいただきました。



### (3) 教室環境について

- ① 座席間隔を確保し、授業を行います。

【レベル3・2】

分散登校を実施し、1教室当たりの人数を半分に制限した上で、図1のような座席仕様をとり、授業を行います。分散登校については、男女別出席番号前半をAグループ、後半をBグループとし、男女比を揃えます。

【レベル1】

座席間隔を確保できる図2のようなテスト隊形を基本とします。

図1

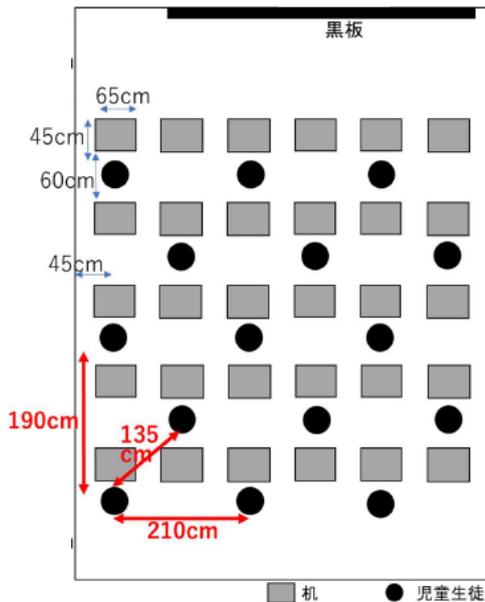
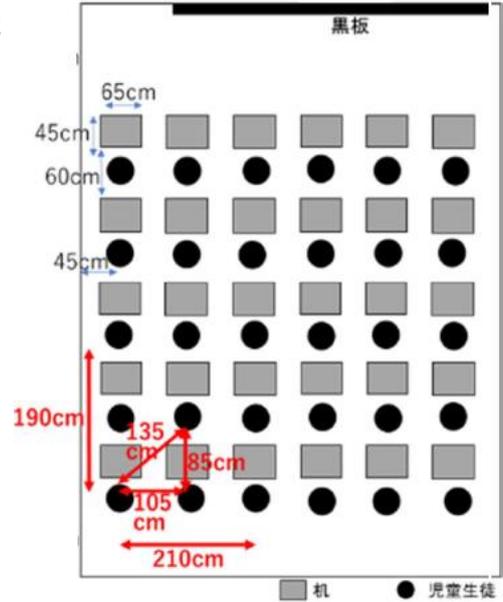


図2



- ② 気候上可能な限り常時可能であれば、2方向の窓を同時に開放して換気を良くすることを徹底します。

- ➔ エアコンを使用する場合でも、可能な限り上窓を開け換気を行います。
- ➔ 休み時間には必ず空気の入れ換えをします。温度管理は、冷房を27度(自動)に設定し、移動教室が1時間程度の時や休み時間も空調を入れたままにします。これによって、暑い教室外から教室に戻ってきたときに、マスクをより着用しやすい環境を整えます。(毎稼働時の電力消費量を押さえることにもつながります。)



- ③ 体育館、武道場等でもドアや窓を開放し、換気を心がけます。

### (4) 給食の指導について

【レベル3・2】 感染リスクを抑えるために、原則、学校給食は実施しません。弁当持参となります。

ただし、【レベル2】で給食を実施する場合(【レベル1】への移行期間)

10分配膳・残食0よりも、感染対策&安全に配慮した配膳を優先します

【レベル1】

感染対策&安全に配慮した上で、10分配膳や残食0を指導します

- ① 給食中はマスクを外すため、座席間隔が確保できるテスト隊形で全員が前を向いて食べます。
- ② 給食配膳前に全員が手洗いを必ず行います。
  - ➔ この時、水道前が密状態にならないよう、時差をつくったり、使用する水道を割り振ったりするなどの配慮をします。
- ③ 配膳台・お盆の消毒について
  - ➔ 配膳台については、配膳時と片付け時に消毒をし、お盆については給食配膳時に消毒をします。お盆の消毒は、教室の後ろで行い、消毒液が教室内に飛び散らないように、また、配膳を終えた生徒の机にある給食に入らないように配慮して行います。(※飛散した消毒液が給食にかかったとしても健康被害はありません。)
- ④ ランチマットについて
  - ➔ おぼんにひくランチマットを忘れた場合は、給食終了後、必ず洗浄・消毒をさせます。ランチマットを忘れないよう、御家庭でも確認したり、予備をカバンに入れておいたりするなどの御協力をお願いします。

⑤ 給食配膳について

【レベル2】

- ➔ 給食配膳係は白衣を着用し、ビニール手袋を付けます。
- ➔ バイキング形式により、自分の給食は自分で用意します。一列に並ぶ際は、ソーシャルディスタンスをとるよう指導します。
- ➔ 配膳係の給食を係が準備するときは、必ずビニール手袋を着用します。



【レベル1】

- ➔ 給食配膳係は白衣を着用します。パンやデザートなどトングを使用しない配膳については、ビニール手袋を付けます。
- ➔ 給食配膳方法については、十分な感染症対策を行うことを前提とし、各学級のやり方を認め、10分配膳もめざします。

⑥ 量の調整・おかわりについて

【レベル2】

- ➔ 感染リスクを抑えるため、給食を減らす・仲間に給食をあげる行為はしません。
- ➔ 配膳された給食をすべて食べる努力をしたうえで、食べきれないものは食器などを片付けるときに食缶やバットに自分の箸で返します。
- ➔ 欠席者や配膳しきれなかった分の給食については、おかわりをして構いませんが、その場合、ビニール手袋を使うなど、感染対策を施します。

【レベル1】

- ➔ 食中毒リスクを抑える観点から、レベル1であっても自分の箸等で給食を減らす・仲間に給食をあげる行為はしません。
- ➔ 各自に配膳された量を調節するためにバットに戻す場合や欠席者や配膳しきれなかった分

をおかわりする場合は、トング等を使用し、清潔を保ち行います。

⑦ 食器の片付けの際は、密状態にならないよう行動します。

- 給食の日課については、安全に配慮すると配膳時間に差が生まれるため、終了時刻を学年でそろえます。学年で決められた時間になったら「ごちそうさまでした」のあいさつをします。
- 給食終了時刻を周知し、それまでは御用聞きなど他学年の階に行かないなどの他学年に配慮をした行動をうながす指導します。
- 食器や牛乳を片付ける役割の生徒はビニール手袋を付けて片付けます。
- 食器や食缶などの運搬後、配膳台を消毒します。
- 給食委員も、密状態にならないよう人数等の配慮をし、ワゴンの移動作業や配膳室の片付けを行います。

※ 実際に給食指導がなされる中で、随時、より安全な方法を模索します。そして、安全を優先しながらもより効率的な方法を検討してまいります。

(5) 教育活動について

『学校の新しい生活様式』より(抜粋)

各教科における「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のよう活動が挙げられます(「★」はこの中でも特にリスクの高いもの)。

- ・ 各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」(★)
- ・ 理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・ 音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」(★)
- ・ 図画工作、美術、工芸における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ・ 家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」(★)
- ・ 体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」(★)や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」(★)

【レベル3地域】

上記の活動は、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い」ことから、行わないようにします。

【レベル2地域】

上記の活動は、可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討します。すなわち、これらの活動における、児童生徒の「接触」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの発声」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また回数や時間を絞るなどして実施します。この場合にも、(★)を付した活動については特にリスクが高いことから、実施について慎重に検討します。

その際には、以下の点にも留意します。

- ・ できるだけ個人の教材教具を使用し、児童生徒同士の貸し借りはしないこと。
- ・ 器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の適切な消毒や手洗いを行わせること。
- ・ 体育の授業に関し、医療的ケア児及び基礎疾患児の場合や、保護者から感染の不安により授業への参加を控えたい旨の相談があった場合等は、授業への参加を強制せずに、児童生

徒や保護者の意向を尊重すること。また、体育の授業は、感染者が発生していない学校であっても、児童生徒や教職員の生活圏(通学圏や、発達段階に応じた日常的な行動範囲等)におけるまん延状況を踏まえて、授業の中止を判断すること。

- ・ 体育の授業は、当面の間、地域の感染状況にもよるが、可能な限り屋外で実施すること。ただし気温が高い日などは、熱中症に注意すること。体育館など屋内で実施する必要がある場合は、特に呼気が激しくなるような運動は避けること。
- ・ 体育の授業におけるマスクの着用については必要ありませんが、体育の授業における感染リスクを避けるためには、児童生徒の間隔を十分確保するなど別添2の事務連絡(「学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について」(令和2年5月 21 日))を踏まえた取扱いとしてください。

#### 【レベル1地域】

上記の「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」については、可能な限り感染症対策を行った上で実施することを検討します。その際には、レベル2地域における留意事項も、可能な範囲で参照します。

#### ① 人権教育について

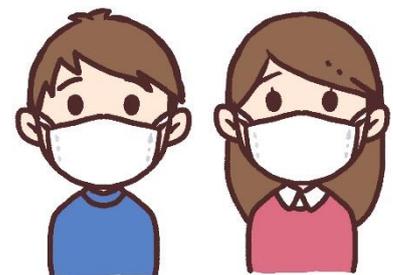
コロナウイルス感染症の拡大とともに、症状や感染に対する不安と恐れだけでなく、感染拡大から生まれる嫌悪、偏見、差別が生まれやすい社会状況になっています。

榛原中学校では、教育活動全体をとおして、生徒の道徳性を養っていくために以下のような手立てをとってまいります。

- ➔ 『特別の教科 道徳』において、「相互理解、寛容」、「生命の尊さ」など、人権に関連する内容項目を指導する際に適切に扱います。
- ➔ 昼の放送時に、図書司書が人権をテーマとする内容の本を読み聞かせることをとおして、気づきをうながしていきます。
- ➔ 学級活動の時間や部活動では、日常生活が当たり前のように送れる喜びや仲間とともに好きなことに取り組める喜びを再確認させたりするなど、生徒ともに気づき、考える時間を大切にしていきます。

#### ② 教科指導について

榛原中学校では、「仲間との対話を通して、課題を粘り強く解決しようとする」授業をめざしています。そのため、グループ活動やペア活動など、協働的な学びをとおして、気づき、考え、まとめることが大切だと考えております。よって、座席間隔が確保できるテスト隊形を基本とし、以下のような工夫をして、授業に取り組んでまいります。



- ➔ こまめに換気をする、飛沫を飛ばさないよう咳エチケットの要領でマスクを装着する指導をする。
- ➔ グループ活動を行うときには、体の向きだけを変えるのではなく、マスクを着用したうえで、机ごとを向かい合わせて、一定程度の距離を確保する。
- ➔ ホワイトボードを使用するときには、役割分担をし、頭と頭が近づかないように配慮する。また、使用後は、適切に消毒をする。
- ➔ 黒板の前に立って、説明するのではなく、レーザーポインタを使用し、少し離れた場所から説明をする。

など、感染症拡大防止に最大限配慮しながら指導をする方法を模索してまいります。なお、水泳

指導につきましては、市教育委員会の指導により本年度は実施しません。

③ 授業時数の確保について

- 長期休業日を短縮して、授業日を確保します。
- 授業時間確保のために、今後、月曜日と水曜日の6時間目に授業を行うこともあります。
- 木曜日と金曜日の朝の時間を利用して、20分間のモジュール学習を50回行います。実施する教科は、国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。

④ 朝の会・帰りの会での歌練習について

【レベル3・2】

- 実施しません。

【レベル1】

- 換気をし、同一方向を向いてパート練習を行います。2列になる場合は、前後入れ違いとなり、前方に人がいない状態を作ります。パートピアニストの位置にも配慮します。
- 教室内での全体練習については、当面の間は実施しません。今後の状況によって判断します。

⑤ 下校時の昇降口の密状態を回避するために

【レベル3・2】

- 3年生の帰りの会を5分短縮します。時差をつけることで、昇降口の密状態を回避します。

【レベル1】

- 廊下や昇降口が密状態にならないよう、速やかな移動を呼びかけます。

⑥ その他の教育活動について

【レベル3・2】

- 式・集会などでは、学級単位以上に集めることは、行いません。資料を用意するなどの工夫をし、放送で行います。
- 休み時間は、廊下やトイレなどが密状態にならないよう、教室(特別教室)で過ごすことを基本とします。
- 図書室については、イスの個数を減らした上で開放します。また、手洗い・消毒をしてから図書室に入るなどの指導を徹底します。

【レベル1】

- 式・集会などでは、学年単位以上に集めることは、当面、行いません。学年集会を行う場合は、換気、移動時に時間差を設ける、集会後に手洗いを行うなどの配慮をします。
- 休み時間は、廊下やトイレなどが長時間、密状態にならないように指導します。
- 図書室についても、長時間、密状態にならないように指導します。手洗い・消毒をしてから図書室に入るなどの指導については引き続き指導していきます。

## 6 保護者にお願いしたいこと

(1) 家庭学習の時間と就寝時刻、起床時刻や朝食をとるなど、御家庭での生活リズムを整え、免疫力を高めてください。



(2) 登校する前に検温をする習慣を身につけさせてください。また、榛中ノートへの記入をお願いします。

- ☞ 普段より体温が高かったり、体調がすぐれなかったりした場合は、自宅で休養してください。その場合は、「欠席日数」とならず、「出席停止の日数」となります。
- ☞ 御家族に調子のすぐれない方がおり、そのために、本人を念のため自宅で待機させる場合も同様に「欠席日数」とならず、「出席停止の日数」となります。

(3) 学校では、マスクを着用する指導をいたします。手に入りにくい状況ではございますが、マスクの用意をお願いします。また、手を拭くためのタオルやハンカチ、給食時に使用するランチマットについても、毎日、持たせてください。また、熱中症対策のための水筒も持たせてください。

- ☞ 手作りマスクの作り方 <https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/soshiki/17/30030.html>

(4) 忘れ物を届けるなどで来校する場合、保護者の皆様もマスクを着用するようお願いいたします。なお、事務室前玄関に消毒液を準備してありますので、お使いください。

### 【レベル3・2】

(5) 学校では、帰宅後の不要不急な外出はできる限り控えるよう指導をしておりますので、御協力よろしくをお願いします。

### 【レベル1】

(5) 外出自粛要請は致しませんが、県外への不要不急の移動は遠慮してください。

### <生徒本人あるいは家族が、PCR検査を受けることになった場合>

- 保護者より学校に連絡をください。
  - 結果が出るまでは登校させず、自宅で休養してください。この場合も「欠席日数」とならず、「出席停止の日数」となります。
    - ☞ 陰性反応であれば、登校させてください。
    - ☞ 陽性反応となった場合、学校は教育委員会や保健所の指示に従って対応します。
- 公務員は、地方公務員法34条により「職務上知り得た秘密を漏らしてはならない(守秘義務)」と定められています。生徒・御家族がPCR検査を受けたことを、学校から外部に公表することはありません。

榛原中学校 22-0025